（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和７年度 学校自己評価システムシート（県立和光南特別支援学校） w45

目指す学校像	児童生徒一人一人の自立と社会参加を目指して、地域社会とともに成長する学校

重点目標	１　個別最適な学びと協働的な学びの充実 ２　地域社会と連携・協働した学校づくり ３　健康で安全安心な学校づくり ４　１２年間を見通したキャリア教育の充実

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価								学校関係者評価
年度目標					年度評価（　月　日　現在）			実施日　令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標 ■は保護者アンケート項目	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【現状】 ・指導・支援の共通理解の促進 ・学習指導要領や太田ステージ評価に係る研修会の実施 【課題】 ・科学的な根拠に基づく指導実践の推進 ・授業におけるICT活用力の向上	①科学的、法的根拠に基づく指導・支援の促進 ②個別最適な学びと協働的な学びにつながるICT機器の活用促進	①太田ステージ評価及び学習指導要領に係る研修会の実施 ②学習者の実態を踏まえたICT機器の活用及び研修会や授業研究の実施	①科学的・法的根拠に基づく指導・支援を促進できたか。 ②ICT機器を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実したか。 ■教育的ニーズや適切な実態把握等を踏まえた指導 ■タブレット端末等のICT機器の有効活用 ■教育支援プランABの明確性				
2	【現状】 ・巡回相談及び行動観察等の実施 ・学校ホームページ等による積極的な情報発信 ・学校運営協議会の改善 【課題】 ・保護者同士の横のつながりの構築 ・適正な就学等のための情報提供 ・地域社会との連携協働の促進	①保護者や地域社会への情報発信と学校公開 ②センター的機能の発揮及び適正な就学相談等の実施 ③コミュニティ・スクールとしての多様な取組推進と学校運営協議会の活性化	①-1 学校公開、懇談会等及び運動会や文化祭の一般公開の実施 ①-2 学校ホームページ等による積極的・効果的な情報発信 ②-1 巡回相談等の実施 ②-2 学校見学や体験学習等の実施 ③-1 地域住民等の参画と協力 ③-2 児童生徒作品等の展示場所の拡大	①-1 保護者や地域関係者が参観できる機会が増加したか。 ①-2 効果的に情報を発信したか。 ②-1 地域のニーズに応じた巡回相談等を実施したか。 ②-2 適正な就学等につながる学校見学や体験学習等を実施したか。 ③-1 地域住民等と連携した教育活動が前進したか。 ③-2 児童生徒作品等の展示場所が拡大したか。 ■校外の関係機関と連携した支援 ■本校の教育活動の地域への周知				
3	【現状】 ・救急法講習会等の実施、個別の緊急対応マニュアルの作成 ・スクールバスにおける重大事故発生０件 ・不祥事根絶のためのミニ研修の実施 【課題】 ・校舎改修を見据えた災害対策 ・バス停自主通学生徒の安全確保 ・不登校児童生徒の対応 ・不祥事根絶に向けた取組と風通しのよい職場づくり	①安全教育や防災教育、災害対策及び保健指導等の充実 ②安全安心な登下校と教育活動の実現 ③教職員の不祥事根絶と働き方改革促進	①避難訓練や救急法講習会等の実施及び各種緊急対応マニュアルの共有 ②-1 自主通学生徒等への交通ルールの指導の実施 ②-2 校内における組織的な不登校対応の整備 ③-1 不祥事根絶のためのミニ研修の実施 ③-2 校務のDX化・ペーパーレス化の促進	①危機管理に関する共通理解が深まったか。 ②-1 自主通学生徒等の登下校における重大事故発生０件を継続したか。 ②-2 不登校児童生徒への組織的対応が前進したか。 ③-1 教職員の不祥事事故発生０件を実現したか。 ③-2 校務のDX化等を進め、時間外在校等の平均45時間以内達成に向けて前進できたか。 ■安全安心な授業や学校行事 ■適切な交通ルールの指導や避難訓練				
4	【現状】 ・キャリア教育全体計画の作成 ・後援会による研修会の実施 ・進路指導に関する各種研修会等の実施及び就労支援アドバイザー等との連携 【課題】 ・生徒のニーズに応じた現場実習の機会の確保 ・校内外への進路先の情報発信及び情報共有の充実 ・関係機関との連携による卒業後を見据えた支援体制の構築	①キャリア教育の理解促進及び進路指導、職業教育の充実 ②関係機関と連携協働した進路指導	①キャリア教育及び進路指導に関する各種説明会の充実 ②-1 卒業後の進路や生活を見据えた情報発信と情報共有の充実 ②-2 関係機関との連携による生徒のニーズに応じた就労先の促進	①キャリア教育及び進路指導に関する教職員や保護者の理解は深まったか。 ②-1 生徒や保護者への進路指導に関する情報発信及び関係機関との情報共有が充実したか。 ②-2 関係機関と連携し、生徒のニーズに応じた卒業後の就労を促進できたか。 ■12年間を見通した系統的・計画的な指導				